

特定非営利活動法人イマジン

〒427-0022 静岡県島田市本通二丁目4-20 Tel 0547-34-3370 Fax 0547-34-3371



イマジン通信

Vol.70



役割分担が必要です！

速いもので今年もすでに秋の気配が…。今年度も折り返し時点が近づいています。

今年は最初から嫌な胸騒ぎがしていました。嫌な勘ほどよく当たるもの、困難なケースが続出しています。新しい方もいますが、以前から関わっていて現在悪い状況になってしまった方や支援の在り方が適していなかった方、支援の見直し等がされず放置された状態で困難ケースとなって再会する方など様々です。

大きく分けると2つのパターンに分けられます。本人の意向というよりは、ご家族（主として母親）の意向のみを聞き入れた支援をしているケースと支援者側が機能していないケースです。

現在は、国の制度上、障害者総合支援法のサービスを受ける場合に「計画相談」という手続きをすることになっています。身体介護などのヘルパー（市町が実施する移動支援のみの人は該当しません）、ショートステイ、生活介護や就労支援A・B、グループホームなどは全て対象となります。本人に必要な支援を計画し、本人やご家族に承認を受けて市町に計画を提出します。

しかし、この計画相談が必須となりはしたが事業所も相談員も少なく、実際に計画を立てることができる相談員が居ません。結果、現在のサービス使用状況を聞き取り、書類を作成するだけになるか、声の大きな人がいる場合には、その人の声が計画に反映させるようになってきているのが現実です。声の大きな人は、ご家族や長く関わる施設の職員が大抵のケースです。

今、相談支援の見直しと現実的な支援員の養成が急務だと感じています。制度的に計画が必須となったということは対象者が増えたということ。当然、相談員の人数と質は整っていないでしょう。事業所の数と支援員の人数と質も同様。各市町の担当は約3年ほどで移動してしまいます。なかなかエキスパートは生まれません。これらは現実です。現実ですが「しょうがない」では相談支援は役に立たない、形だけ書類だけのものになってしまいます。ご家族が支えていられる間は表面化しないだけで、何処かが欠ければ一気に困難な事態となってしまいます。そんな事態になった時、機能する相談支援が必要であり、そのような事態にしないように、定期的に本人の様子を確認していくのが相談支援の役割です。

相談支援は、本人に成り代わって“我が事”として支援策を考えます。それは『設計図』です。本人が本人らしい生活をするための設計図でなくてはなりません。実施するのは、事業所や学校、ご家族の役割になります。もちろん、本人が一番実施に関わり、直接感じ、影響を受けます。

支援者も経験や知識が足りていないのが現状です。障害者支援にプロはいません。良く見続け、関わり続け、考え続けること。後は、我慢しづけること…かな（笑）。障害者支援に関わる者が、経験を重ね、知識と技術を学び『支援の在り方』と『支援の本質』を理解しなくては本人に適した設計図を作り、実施する支援者は作れません。

時間が掛かることですが、今からでも取り掛からなくては整うことはありません。行政、法人、事業所がそれぞれの役割分担を再確認し、決め、支援の受けられる地域にしていくことが必要です。（担当 澤島）



幸せの黄色いレシート♪応援お願いします♪

毎月11日は『幸せの黄色いレシートキャンペーン』の日！と言ってもご存じない方もいらっしゃるかと思います。が・・・

イオン、マックスバリュ、ザ・ビッグなどでは、毎月11日の「イオン・デー」にお客様がレジ精算時に受け取られた“黄色いレシート”を地域のボランティア団体等の名が書かれた店内備え付けのBOXに投函していただくことで、レシート合計金額の1%分が希望する品物として各団体に寄贈され、団体の活動に役立てることができるという企画です。

以前、ブログでもお伝えしましたが、イマジンもこの企画に登録させていただき、本年5月から「マックスバリュ阿知ヶ谷店」にイマジンのBOXが設置されています。設置から3ヵ月たった8/11に、ご挨拶がてらの『声掛け作戦』に行ってきました。

ボックスは店内のレジの横に設置されています。店内はお盆の昼時とあってか、お客様でとっても賑やか。そんな慌ただしい雰囲気でしたが、レジが済んだお客様にお声かけをさせていただき、レシートの投函のご協力をお願いしました。お忙しい中、皆さん親切に対応していただき、とても嬉しかったです。

おかげさまで、イマジンのBOXに皆さんのご協力を頂き、たくさんのレシートを入れて頂きました。応援ありがとうございました。来月からもなるべく、ご挨拶とお願いに伺いたいと思います。今後も宜しくお願いします（担当 柴原）



イマジン投函BOX



時間をかけて・・・

「暑いねえ」が毎日のあいさつになってしまう程暑い日々が続いている今日この頃ですが、グループホームに入居されている皆さんは、変わらず元気に生活されています。こんなに暑い日でも、帽子・水筒を持って「行ってきます！」と元気に外出し、それぞれに夏を楽しんでいます。

通常、グループホームは夕方から活発に活動が始まり、朝の通勤・登所ラッシュが終わると、それまでの賑やかさが嘘だったかの様に静まり返ります。世話人たちは、入居者の皆さんがホームで生活している間、食事・入浴・洗濯・身支度などの支援をしたり、気持ちを支える支援を行っています。しかし、実はそんな直接支援よりも、支援を行うための準備をしたり、どの様に支援をしていくのか？課題点にどう取り組んでいくのか？を考える時間も、とても大変で、重要で、時間がかかるのです。（もちろん、日々入居者の皆さんと直接向き合って支援してくれる職員も、とてもとても大切です。支援してくれる職員がいなければ、支援は成り立ちません。職員の皆さんにはいつも頭が上がりません…。）

今までも何度もお話して来ましたが、世話人は、GHで生活されている入居者の皆さんの「生活」を見させていただいています。毎日の生活の中には、食事・洗濯・洗面・着替え・居室の片付け…など、やるべき事がたくさんあります。しかし、その一つ一つに、気遣わなければならない事、課題となる事があったりします。

ある入居者さんは、食事への切り替えがうまく出来ないため、声掛けの仕方を統一し、食席・ランチョンマット等の食事の環境を工夫をしています。洗濯方法にこだわりがあるため、毎日カードを使って洗濯のタイミング等を示している方、スムーズに入浴→就寝と切り替えができるように、時間・掛ける言葉・世話人の立ち位置まで統一している方、世話人に確認をしながら気持ちを作っていくため、確認に対しての答え方を統一している方、就寝への気持ち作りが苦手なため、毎日就寝前に（時には深夜までかけて）世話人と気持ちの整理をする方など様々ですが、この様に、入居者一人一人、それぞれ必要な部分に必要な支援を行います。個々に必要な支援を行うためには、利用者を理解しようとする意識を持ち、日々の生活をよく見て、課題を抽出し、対応方法を議論し、様々な準備を行い、世話人全体に周知をする…などの過程を経ていく必要があります。しかし、これらの時間を軽視してしまうと、支援者の押し付けや、利用者を無視した支援になってしまうことがあります。そのため、世話人たちは、入居者の皆さんが通勤・登所した後も頭をフル回転させて、時に激しい議論を交わしながら「どうしたら良いか？」を考えています。人によっては、悩みすぎて行き詰ってしまう事も…。しかし、そんな時は共に働く仲間や、上司、他の事業所の仲間などに相談しながら、向き合っていきます。

だからと言って、全てがうまく行っているわけではありません。世話人側の考えが違っていった事も、考えが足りずに入居者さんに負担をかけてしまう事も、辛い思いをさせてしまう事もあります。まだまだ支援者としてできる事・しなければならない事も多く、理想ばかりが先行して現実の支援は行き届いていない事も沢山あります。しかし、「しょうがないよね。」で終わらせない！たとえ理想でも目指すイメージを持とう！と、少しずつ前に進んでいます。この小さな前進が、ご本人だけでなく世話人も、それぞれのホームも、そしてイマジンを成長させてくれていると思っています。

人の感じ方、考え方、受け取り方はそれぞれ違います。世話人によって、「あれ？」と思うポイントも、「こうしたらどうか？」との方法論も、「こうだと思った」との受け取り方も違います。そんな人の集まりが統一した支援を行うために、同じ目標を目指して行くために、まずは世話人が一人の人として周りを思いやってくれる仲間を作って行きたい。そのために自分たちが何をすべきかを考えて行きたいと思えます。（担当 二宮）



そろそろ・ぼちぼちの日々

暑い日や雨の日が続いて「疲れた…」「大変だった…」と口にしてしまっていますが、入居者の皆さんは元気に仕事、余暇活動、毎日の生活を過ごしています。

アイドルグループ「嵐」の大ファンAさんは、コンサートへ行く事を楽しみにしています。自分でいろいろ調べて手配もしていましたが、よく確かめてみると宿泊場所がコンサート会場から遠くて行く事が出来なかったり、スケジュールに無理があったりと、本人がひとりで組み立てるのは困難な状況でした。後に気づいた世話人が大慌て…。残念そうな表情のAさん…。でも、世話人と一緒にプランを考え直し、なんとか無事に行く事ができそうです♪ 企業への就労が始まったBさんは、帰宅すると世話人へその日の仕事の様子をお話してくれます。いろいろ大変な事もあるようですが、充実した表情を見ると嬉しくなります。グループホームのお手伝いもしてくれています。

皆さんから、自分たちのお家で「みんなで楽しくすごしたい！」そんな気持ちが感じられます。月末には「お疲れ様会」を開いて、がんばってること、これからやってみたい事など色々な希望や意見がでてきます。8月は「花火大会」と「おいしいスイカを食べよう」ということを決め、みんなで買い物や準備をして楽しい時間を過ごすことができました。次は「餃子を作って食べたい！」「お月見をやりたい」と声が上がっています。ちなみに…お調子者の世話人Cさんも一緒に盛り上がりつつありますが、さすがに調子に乗りすぎたようで先輩世話人から軽くお叱りをいただいていた（笑）（担当 岡本）





夏休みのこの指

夏休みが始まったなあと思っていたら、あっという間に月日は経ち、もう終わろうとしています。この暑さにも負けず、子どもたちは元気いっぱい過ごしています。大人たちは暑さにめげそうになりながらも、元気いっぱい子どもたちにエネルギーをもらって頑張っています。今年は去年と同じく大井側鉄道をトーマスが走っているのに加え、なんと！ジェームスが走る日もあるんです。この指でも、トーマス&ジェームスをたくさん見に行きました。プールもこの指のビニールプールだけでなく、島田市内の小学校の無料開放プールにお世話になりました。毎日の様に通ったため、プールの監視員さんから声をかけてもらえる機会も増え、心が温まる日も多かったです。暑い中プールに入ると私たち大人もそうですが、子どもたちもスッカリする様で、プール後はまったりとした時間が流れます。



夏休みは1日子どもたちと一緒にいるため、色々な場面に出会います。靴で遊ぶ事が好きなYくん。いつも、みんなの靴を出して遊んでいるのですが、今まではただ出しているだけだったのが、つい先日は、それぞれ1足ずつきれいに揃えているのを見つけたんです！そこにいた支援員みんなで「すごいねえ！」と感動したのと同時に「揃えるなら靴箱に片付けもできちゃうかも！」とワクワクしました。



またある日には、女子3人の間で支援員のAさんをめぐって争いが勃発！Aさんは本当に穏やかで優しい方で、子どもたちにも大人気です。Aさんを大好きなYちゃんは、Aさんが出勤するといつも「キャー」と嬉しい雑音をあげます。いつも昼食後にAさんを連れて部屋を移動し遊び始めるのですが、その日はRちゃんもAさんとYちゃんと一緒に本を見るところと一緒に過ごしていました。そのAさんの背後から、普段はあまり支援員に「遊んで」と訴

えてこないMちゃんが、Aさんの服をひっぱり自分の場所へ連れて行き「遊ぼう」と関わってきます。Rちゃんが「Aさん」と呼び移動すると、またMちゃんがAさんの服を引っ張る・・・の繰り返しで、しばらくその争いが続きました。周りで見っていた支援員は「Aさん、人気だね」とヤキモチをやきながらも、自分たちも子どもたちから求められる支援員にならなければと、奮起した日でした。(担当 油井)



好評です♪

7/25(土)に島田市のおび通りで行われました『しまだ元気市』に出店させていただきました。この日は本当に暑かったです、いくら水分を摂っても、すぐに汗で流れ出ちゃうって感じてました^_^;

そんな中、出店の準備をして、炭の火起こしもできて、手羽先を焼き始め、調子がでてきて、だんだん焼きあがっていき、同時ににんにくと肉が焼けた食欲をそそるい〜においの煙が立ち込め、誘われたお客様が手羽先を見つめながら、『いくら?』『味付けは??』と声をかけてくれます。『1本100円ですっ!』『にんにくと塩コショウですっ!』と答えると『じゃ〇〇本』と注文してくれます。中には『1本はそのまま食べるから』と食べ始める方も、しばらくすると『うまいっけよ!!』と言いに戻ってきてくださり、更に追加で買ってくれます。



イマジンの手羽先をやって嬉しい瞬間の一つです。用意した200本はおかげさまで、夜7時ちょっと過ぎには完売となりました。ありがとうございますm(_)_m
その後で、手伝って下さった理事や父兄さんと味見をして反省会です。

今でも十分美味しい手羽先を、更に美味しくパンチやインパクトを持たせるにはどうしたら良いか!リピートしてもらえると嬉しい味でいたい!という思いで、真剣に意見を出して考えます。イマジンの手羽先はこんな熱い思いに支えられています(笑)。

今後もいろんなイベントに出店していきます。お知らせしますので是非お召し上がり下さいね♪
(担当 平口)

◆◆ ご寄付のご協力をお願いします。 ◆◆

イマジンでは、障害を持つ方も、そのご家族も、この地域に安心して暮らしていくために地域生活を支援していきます。グループホームや日中活動を実施するための建設費用が必要です。また、今後も安定継続をし続けていく為に多くの資金が必要となります。

是非、イマジンの活動趣旨にご理解を頂き、皆様のご寄付のご協力をお願いします。

【振込先】 清水銀行 初倉支店 普通 2115188
特定非営利活動法人イマジン 理事 澤島直通
静岡銀行 島田支店 普通 0606771
特定非営利活動法人イマジン 理事長 澤島直通

※ お振り込みの際、氏名のご記入とお手数ですがご連絡をお願いいたします。



平成27年度 正会員の募集をしています！

日ごろからイマジンの活動にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。NPO法人にとって正会員は必要不可欠な存在です。本当にありがとうございます。

平成27年度の正会員の募集を開始しています。本年度同様に来年度もイマジンの活動趣旨に賛同・ご協力をしてくださる正会員の募集です。

年会費の受付は常時行なっています。新規の会員も継続の会員も大歓迎です。年会費はイマジンまでお持ちになっても、下記口座まで振り込まれても結構です。また、イマジンのサービスを利用されている方は引き落としも可能ですのでお申し付けください。イマジンの活動に引き続きご協力・ご支援をお願い致します。

☆金子 信義	☆山本 隆行	☆大石 泰樹	☆勝岡 正明	☆田中 久規	☆松浦 裕生	☆大草 順子
☆鈴木まゆ美	☆大石 絢乃	☆岡崎 金二	☆木村 博志	☆酒井 勝利	☆榊原 顕寿	☆杉山 高四
☆竹内 増美	☆田中 義規	☆原田 君江	☆彦坂 和弘	☆松浦 正幸	☆和出 文子	

【年会費】正会員 5,000円 ・賛助会員(個人) 1,000円 ・賛助会員(団体) 20,000円

【振込先】 静岡銀行 島田支店 普通 0606771
特定非営利活動法人イマジン 理事長 澤島直通



みんな、伝わってるよ♪

毎日暑い日が続きますが、夏休みやお盆はもちろん、毎日たくさん利用者さんがつついにお泊りに来てくれました。つつい雨やどりの和室は、入居者はもちろん、ショートの利用者さんや職員が集まり、みんなでくつろぐ憩いの場所でもあります。

ある日のこと、テレビが壊れてしまいました。入居者Aさんによる『テーブル返しテレビ大破事件』があり、テレビが無くなり、いつもより少し静かな和室になってしまいました。ところが、テレビが無くても自然とみんなが集まり、入居者に交じってゆっくり過ごすショートの利用者さんがたくさんいました。話し声や笑い声が響き、時には、静かにみんなでお昼寝をして過ごす姿もたくさん見られました。つついに来ると真っ先に和室に向かう利用者さんや、ご家族が迎えに来て、和室から動かない利用者さんなども少なくありません。憩いの場所はテレビがあったからではなく、みんながくつろげる大切な場所だからなんだと感じました。

話は変わり、先日の出来事です。S君がつつい雨やどりにお泊りに来ました。居室に入ると手足をバタバタさせ興奮しているようです。世話人が付き添うと徐々に落ち着き、その後はスムーズに過ごすことができました。2日目の昼食後にも不穏な様子があり、前日と同様に世話人が付き添います。S君のショートステイが終わり、すぐに世話人同士で、S君がどうして不穏になったのか?と意見を交換し合いました。「ショートステイに慣れてきたから。」「予定が明確ではなかったから。」「嫌いな音をひろったのか?」といろいろ考察しました。S君は上手に言葉で伝えられない分、態度や行動で教えてくれます。本当なら不穏になる前に何らかの対応ができることが望ましいと思いますが、今回のように不穏な状態になってから気づかされるケースもあります。

自分の思いを相手に伝えるという事はとても難しい事ですが、ショートステイの利用者さんたちはたくさんの事を私達に伝えてきてくれます。食事の途中で両手を合わせて「ごちそうさま」と、お腹いっぱいになったことを伝えてくれる姿。世話人の手を引き居室へ連れて行き、「寝たい」と伝えてくれる姿。世話人の声掛けに、大きくうなづいたり、首を横に振って伝えてくれる姿。近くに世話人が居らず、壁や床を叩いて世話人を呼ぶ姿。食事中に笑ったり、苦い顔をしたりと表情で伝えてくれる姿。などなど

伝え方はみんな違いますが、一人一人が本人なりにできる限りの表現で教えてくれます。自宅にいる時とは違います。「いつもの言葉では伝わらない」そんな時は、別の言葉や方法を選び、いつも以上に大きな動きや行動・表情で教えてくれます。

利用者さんが、世話人に想いをたくさん伝えてもらえるつついでありたいと思います。そして、少しでも、理解して彼らの思いに気づけるような支援者になりたいと改めて感じさせてもらえる夏でした。(担当 天野)

【連絡先】 特定非営利活動法人 イマジン

障害者支援センターイマジン

〒427-0022 静岡県島田市本通二丁目4-20
TEL 0547-34-3370 FAX 0547-34-3371
e-mail imagine@za.tnc.ne.jp
http://www3.tokai.or.jp/imagine/

初倉事務所 (つつい雨やどりに隣)

〒427-0113 静岡県島田市湯田1-1
TEL / FAX 0547-30-4117
e-mail npo-imagine@cy.tnc.ne.jp

